

# セゾン・ グローバルバランスファンド

## 運用報告書(全体版)

第17期(決算日 2023年12月11日)

### ■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

### 受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第17期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

SAISON  
ASSET  
MANAGEMENT

セゾン投信

### ■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

## 運用担当者の紹介

セゾン・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

### 瀬下 哲雄

#### 主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 17年

#### 経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年から現職。



### 運用体制の変更について

2023年6月28日をもって2007年4月より代表取締役を務め、2014年3月よりチーフインベストメントオフィサー（CIO）を兼任しておりました中野晴啓氏が退任しました。以後、当社はCIOを置いておりませんが、CIOが指示してきた基本的な運用の方向性は、2007年3月にファンドが設定されて以来、16年以上一貫して運用の実務を担ってきたマルチマネージャー運用部にしっかりと共有されており、もちろん目論見書に記載されているファンドの運用方針にも変更はなく、引き続き運用体制の強化を図りながら、皆さまの長期の資産形成に資するよう努めてまいります。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

### ◎受賞実績



**「R&Iファンド大賞2023」  
優秀ファンド賞を受賞しました。**

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&Iファンド大賞2023」において「投資信託部門バランス型（標準）」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。  
受賞は3年連続となります。



**「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」  
最優秀ファンド賞を受賞しました。**

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 バランス型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。  
受賞は2年連続となります。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		為替レート		投資対象ファンド組入比率									純資産総額		
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落率	%	期中 騰落率	米ドル (円)	ユーロ (円)	投資証券 組入比率	500・イン デックス	インスティ テュー ショナル	ヨーロッパ ・ ストック	ジャパ ン・ ストック	ポ リ フィ ック・ エ ク ス ジ ャ パ ン ・ ス ト ック	エ マ ー ジ ン グ ・ マ ー ケ ッ ト ・ ス ト ック	U.S. ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド	ユー ロ ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド	ジャ パ ン ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド			
第13期 2019年12月10日	円 15,268	-	7.5	17,841	8.3	108.67	120.23	99.2	%	%	29.2	9.5	3.8	1.8	5.8	26.0	17.6	5.6	194,260
第14期 2020年12月10日	円 16,651	-	9.1	19,385	8.7	104.28	125.97	99.2	-	30.1	8.5	3.6	1.6	6.6	24.2	19.3	5.4	230,238	
第15期 2021年12月10日	円 19,206	-	15.3	22,639	16.8	113.47	128.12	98.9	30.9	-	8.2	3.1	1.4	5.9	25.3	19.2	5.0	294,071	
第16期 2022年12月12日	円 19,645	-	2.3	22,866	1.0	136.76	143.76	99.0	30.7	-	8.3	2.8	1.6	5.8	28.0	17.8	4.1	337,818	
第17期 2023年12月11日	円 22,351	-	13.8	25,899	13.3	145.40	156.58	99.2	32.3	-	8.2	2.9	1.4	5.3	26.9	18.8	3.4	412,876	

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル(円)、ユーロ(円))は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 合成指数		投資対象ファンド組入比率								
	円	%	期中 騰落率	%	投資証券 組入比率	500・ インデックス	ヨーロッパ ・ ストック	ジャパ ン・ ストック	ポ リ フィ ック・ エ ク ス ジ ャ パ ン ・ ス ト ック	エ マ ー ジ ン グ ・ マ ー ケ ッ ト ・ ス ト ック	U.S. ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド	ユー ロ ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド	ジャ パ ン ・ ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド
(期首) 2022年12月12日	円 19,645	-	22,866	-	99.0	30.7	8.3	2.8	1.6	5.8	28.0	17.8	4.1
12月末	18,707	△4.8	21,591	△5.6	98.8	31.1	8.3	2.8	1.7	5.8	27.7	17.3	4.2
2023年1月末	19,201	△2.3	22,477	△1.7	99.0	30.9	8.5	2.9	1.7	6.0	26.9	17.9	4.1
2月末	19,524	△0.6	22,666	△0.9	99.0	30.9	8.5	2.8	1.6	5.6	27.0	18.4	4.2
3月末	19,620	△0.1	22,806	△0.3	98.9	31.1	8.8	2.8	1.6	5.7	26.6	18.5	3.9
4月末	19,988	1.7	23,107	1.1	99.0	31.0	8.8	2.8	1.6	5.5	26.9	18.7	3.8
5月末	20,646	5.1	23,914	4.6	99.1	31.7	8.7	2.9	1.5	5.5	26.5	18.5	3.7
6月末	21,895	11.5	25,304	10.7	99.0	31.5	8.3	2.8	1.4	5.3	27.2	18.8	3.7
7月末	21,718	10.6	25,109	9.8	99.1	32.0	8.4	2.8	1.5	5.5	26.6	18.6	3.6
8月末	22,151	12.8	25,483	11.5	99.0	32.0	8.3	2.8	1.4	5.4	26.8	18.9	3.5
9月末	21,749	10.7	25,106	9.8	99.0	31.5	8.1	2.9	1.4	5.4	27.3	18.8	3.6
10月末	21,375	8.8	24,565	7.4	98.9	31.4	7.9	2.8	1.4	5.3	27.5	18.9	3.5
11月末	22,419	14.1	25,877	13.2	99.1	32.2	8.2	2.9	1.4	5.4	26.7	18.9	3.4
(期末) 2023年12月11日	円 22,351	13.8	25,899	13.3	99.2	32.3	8.2	2.9	1.4	5.3	26.9	18.8	3.4

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### 期中の基準価額等の推移

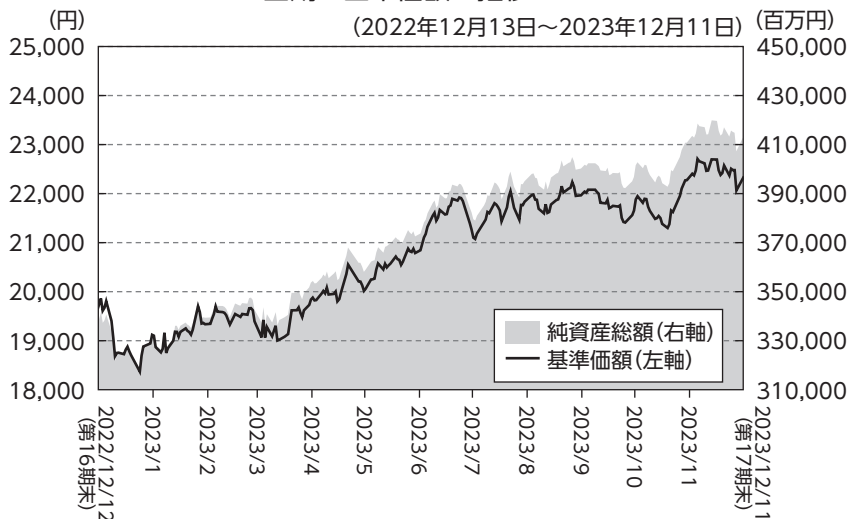
当ファンドの第17期(2022年12月13日～2023年12月11日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2023年1月4日に18,368円の最安値を、2023年11月16日に22,707円の最高値を付け、当期末の基準価額は22,351円でした。設定から当期末までの基準価額の騰落率は123.5%、当期の騰落率は13.8%でした。

### 【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	18,368円	2023年1月4日
高値	22,707円	2023年11月16日

### 当期の基準価額の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

**【基準価額の主な変動要因】**

当期は、株式に投資するファンドの上昇と対ドル、対ユーロでの円安が基準価額の上昇要因となりました。

## &lt; 基準価額のプラス要因 &gt;

バンガード・500・インデックス・ファンド (米ドル)
対ドルでの為替レート (円安)
対ユーロでの為替レート (円安)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)

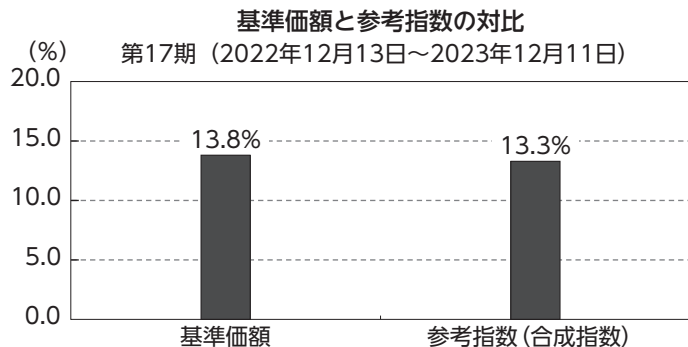
期中騰落率  
13.8%

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)

## &lt; 基準価額のマイナス要因 &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込) とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

## 当ファンドの運用経過と結果

当期も、引き続き積み立てなどのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が目標から乖離した局面では、比率が上昇したファンドを売却して比率が低下したファンドを購入することによりリバランスを行いました。その結果、当期の購入から売却を差し引いた純投資額は、債券ファンドが株式ファンドを上回りました。なお、期中の資産配分比率に大きな変動はありません。

## 投資環境

### 【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

期の初めは、ゼロコロナ政策の終了により中国経済の回復への期待が高まったほか、エネルギー価格が低下したことを背景に欧州を中心に先行きへの悲観的な見方が後退したことを受けて上昇しました。3月には米国で地方銀行が破綻したことをきっかけに金融不安が高まって下落する局面がありましたが、その後は落ち着きを取り戻して反発しました。4月から5月にかけては物価の上昇が続いていることを背景に米国や欧州で金融引き締め観測が強まるなかでも、景気の先行きに対する楽観的な見方が広がって堅調な展開となりました。6月から7月にかけては人工知能(AI)の普及への期待が高まったことを受けて米国のハイテク企業を中心に上昇しました。8月以降は米国を中心に金融引き締めが長期化するとの見方を背景に先行きへの不透明感が強まったほか、欧州や中国で景気の低迷が確認されたことを受けて下落基調となりました。10月には米国で長期金利が上昇したことを受けて下落する局面がありましたが、11月以降は物価が落ち着きつつあるとの見方を背景に、米国や欧州で政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて上昇しました。

米国は、景気が底堅く推移するとの見方が強まるなかで、人工知能(AI)の普及などによりハイテク企業の収益拡大期待が高まって上昇しました。欧州は景気が低迷を続けたものの先行きに対する悲観的な見方が後退して上昇しました。日本は株価の相対的な割安感が意識されるなかで企業価値向上の取り組みが本格化することへの期待が高まり、割安株を中心に上昇しました。新興国はゼロコロナ政策の終了後も経済活動が低迷したことを受けて中国が下落した一方で、韓国、台湾、インドなどが上昇し、全体でも上昇しました。

### 【国債市場の概況】

国債市場は米国が上昇し、日本とユーロ圏が下落しました。

期の初めは、米国や欧州で物価の上昇が続くなかで金融引き締め観測が強まって下落し、1月には金融引き締め観測が後退して上昇したものの、2月には再び金融引き締め観測が強まって下落しました。3月に米国で地方銀行が破綻したことをきっかけに金融不安が高まり、安全資産としての需要が高まって上昇し、4月まで堅調に推移しました。5月以降は米国や欧州で物価の上昇幅が縮小傾向となったものの、米国で金融緩和が長期化するとの見方が強まったことを受けて下落基調となりました。9月には一部の産油国が減産を発表したことをきっかけに原油価格が上昇し、物価上昇観測が強まって下落しました。10月は原油価格が反落したことを背景に底堅く推移し、11月以降は米国や欧州で物価が落ち着きつつあるとの見方が広がり、政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて上昇しました。

米国は、連邦準備制度理事会(FRB)が次第にペースを落としながらも7月まで政策金利の引き上げを行ったほか、財政赤字の拡大により国債発行額の増加が見込まれているものの、物価の伸びが落ち着きつつあることを背景に政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて終盤に反発しました。ユーロ圏は欧州中央銀行(ECB)が次第にペースを落としながら9月まで政策金利の引き上げを行ったものの、物価の伸びが落ち着きつつあることを背景に政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて終盤に反発しました。日本は、日本銀行が金融緩和を継続する方針を示しているものの、国内でも物価の上昇が確認されて金融緩和の縮小観測が強まるなかで、日本銀行が長短金利操作における長期金利の上限を徐々に引き上げたことを受けて下落しました。

### 【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

高金利通貨を買って低金利通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、ドルとユーロは次第にペースを落としながらも政策金利の引き上げが続いたことを背景に上昇しました。欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことを受けてユーロはドルに対しても上昇しました。円は金融緩和が長期間維持され、ドルやユーロなどとの金利差が大きい状況が続くとの見方を背景に下落しました。

期の初めは、日本銀行が長期金利の上昇を許容する政策変更を行ったことを受けて金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。その後は日本で金融緩和が長期間続くとの見方が強まって円安基調となりました。3月には米国での地方銀行の破綻をきっかけに金融不安が高まったことを受けて米国やユーロ圏



で金融引き締め観測が後退して、対ドル、対ユーロで円高となる局面がありました。しかし、その後は米国やユーロ圏で政策金利が一段と引き上げられる一方で、日本では金融緩和の長期化観測が維持されたことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。7月には米国やユーロで物価上昇が落ち着く兆候が確認されて金融引き締め観測が後退しドルやユーロが軟調となる一方で、日本で物価の上昇が続いていることを背景に金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇して対ドル対ユーロで円高となりました。8月以降は、米国やユーロ圏で政策金利が長い期間高い水準で維持されるとの見方が強まる一方で、日本ではマイナス金利を含む金融緩和策が長期間維持されるとの見方が強まったことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。12月は米国やユーロ圏で政策金利の早期引き下げ観測が強まった一方で、日本で金融緩和の縮小観測が強まったことを受けて対ドル、対ユーロで円高となりました。

## 組入ファンドと為替レートの動き

## バンガード・500・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・500・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は18.74%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、投資先バンガードファンドの前営業日の市場終値を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用してあります。また、投資先バンガードファンドの騰落率は、税引後の分配金を全て再投資したものととして算出しています。



## バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は10.99%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用してあります。



## バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は24.17%でした。

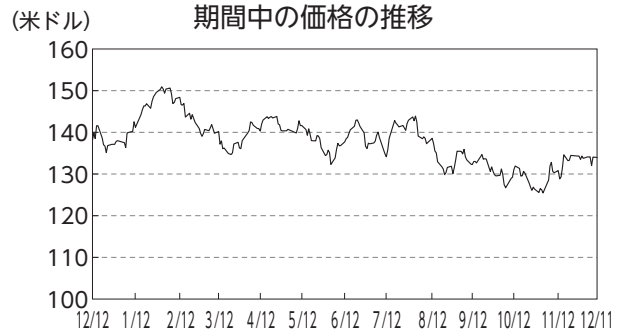
\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用してあります。



## バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は△3.01%でした。

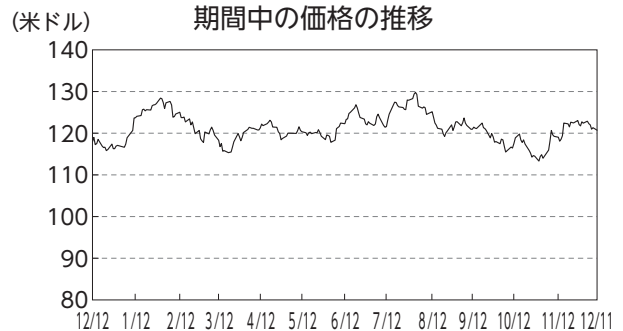
\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は2.39%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は0.10%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は $\Delta 0.12\%$ でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は $\Delta 2.35\%$ でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



## 為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは6.32%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間の投資信託協会発表における評価用為替レートを利用しています。

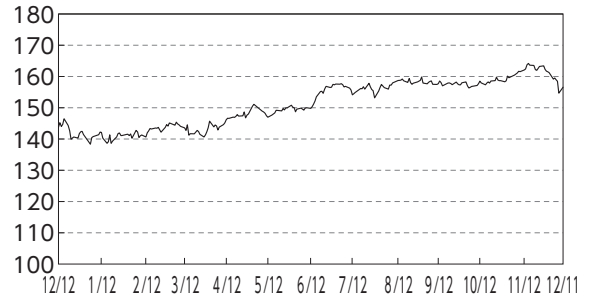


## 為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは8.92%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



## 今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として積み立てなどのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して、目標とする投資比率に沿うように各ファンドへの投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

## 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第17期
	2022年12月13日~2023年12月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,585

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 1 万口当たりの費用明細

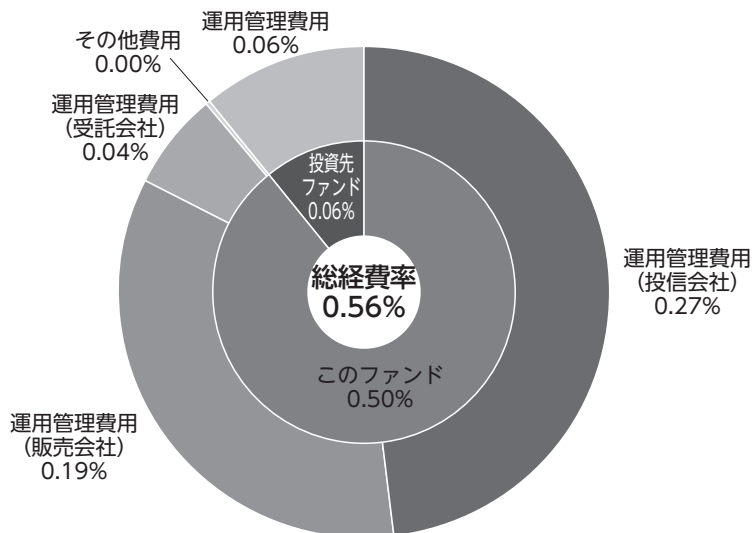
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2022年12月13日~2023年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	103円 (55) (40)  (7)	0.495% (0.267) (0.193)  (0.035)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (そ の 他)	0  (0)  (0)	0.001  (0.000)  (0.001)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	103	0.496	
期中の平均基準価額は20,743円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生していません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## &lt;参考情報&gt;

## 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.56%です。



総経費率(①+②)	0.56%
①このファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.06%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## 期中の売買及び取引の状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

投資証券			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	バンガード・500・インデックス・ファンド	千口 167	千米ドル 60,835	千口 92	千米ドル 36,155
		バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 21	千円 440,000	千口 16	千円 360,000
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 184	千円 1,890,000	千口 114	千円 1,180,000
	アイルランド	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 22	千米ドル 3,000	千口 22	千米ドル 3,200
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	千口 98	千円 11,700	千口 64	千円 8,100
		バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 747	千円 81,300	千口 103	千円 11,000
		バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	千口 68	千ユーロ 12,300	千口 68	千ユーロ 13,000
		バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 805	千ユーロ 85,300	千口 90	千ユーロ 9,500

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

## 利害関係人との取引状況等 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

該当事項はありません。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

該当事項はありません。

## 組入資産の明細

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2023年12月11日現在)

ファンド名	期首(前期末) 単位数 又は口数	単位数 又は口数	当 期 末		比 率	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド						
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 507	千口 512	千円 11,775,279	千円 11,775,279	% 2.9	
バンガード・500・インデックス・ファンド	千口 2,095	千口 2,171	千米ドル 918,251	千円 133,513,709	% 32.3	
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	294	294	39,424	5,732,329	1.4	
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	1,212	1,246	150,416	21,870,539	5.3	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 1,110	千口 1,109	千ユーロ 215,402	千円 33,727,679	% 8.2	
小 計	口数・金額	5,220	5,333	-	206,619,537	50.0
	銘柄数	5	5	-	-	
債券ファンド						
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 1,330	千口 1,401	千円 14,092,539	千円 14,092,539	% 3.4	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 6,299	千口 6,943	千米ドル 762,855	千円 110,919,241	% 26.9	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 3,799	千口 4,513	千ユーロ 496,500	千円 77,742,069	% 18.8	
小 計	口数・金額	11,429	12,858	-	202,753,850	49.1
	銘柄数	3	3	-	-	
合 計	口数・金額	16,649	18,192	-	409,373,387	99.2
	銘柄数	8	8	-	-	

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

・ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

## 投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 409,373,387	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,806,165	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	414,179,553	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・当期末における外貨建資産(409,373,387千円)の投資信託財産総額(414,179,553千円)に対する比率は98.8%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=145.40円、1ユーロ=156.58円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	414,179,553,081円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,806,165,343
投 資 証 券 (評 価 額)	409,373,387,738
(B) 負 債	1,303,538,869
未 払 解 約 金	320,587,536
未 払 信 託 報 酬	982,236,229
そ の 他 未 払 費 用	715,104
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	412,876,014,212
元 本	184,726,546,055
次 期 繰 越 損 益 金	228,149,468,157
(D) 受 益 権 総 口 数	184,726,546,055口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	22,351円

期首元本額	171,961,152,107円
期中追加設定元本額	27,626,336,722円
期中一部解約元本額	14,860,942,774円
1 口 当 たり 純 資 産 額	2,2351円

・当運用報告書作成時点では監査未了です。

## 損益の状況

当期 自2022年12月13日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,661,881,965円
受 取 配 当 金	1,664,530,840
受 取 利 息	34
支 払 利 息	△ 2,648,909
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	47,399,080,991
売 買 益	48,799,076,618
売 買 損	△ 1,399,995,627
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,841,608,514
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	47,219,354,442
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	81,508,082,048
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	99,422,031,667
(配 当 等 相 当 額)	122,237,938,836
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 22,815,907,169
(G) 合 計 (D + E + F)	228,149,468,157
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	228,149,468,157
追 加 信 託 差 損 益 金	99,422,031,667
(配 当 等 相 当 額)	122,237,938,836
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 22,815,907,169
分 配 準 備 積 立 金	128,727,436,490
繰 越 損 益 金	0

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関する消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,599,451,436円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(45,619,903,006円)、信託約款に定める収益調整金(122,237,938,836円)および信託約款に定める分配準備積立金(81,508,082,048円)より分配対象収益は250,965,375,326円(1万口当たり13,585円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

## お知らせ

---

---

該当事項はありません。

## <組入投資対象ファンドの内容>

以下は、当ファンドが投資対象としている外国投資証券の運用状況です。  
2023年12月末日時点で入手できる情報を記載しております。  
なお、以下の各項目の注記につきましては、35頁をご参照ください。

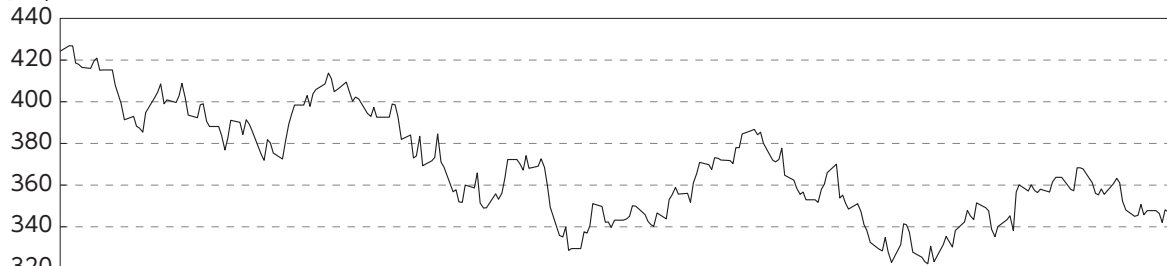
### 1. バンガード・500・インデックス・ファンド

分類	ETFシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	米国籍/上場投資信託
ファンドの目的	S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針/投資対象	S&P500 インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー
管理事務代行会社	ザ・バンガード・グループ・インク
設定日	2010年9月7日
決算日	毎年12月31日

## 1. バンガード・500・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



(2021/12/31)

(2022/12/31)

・グラフは分配金再投資基準価額です。

## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Apple Inc.	6.0
2	Microsoft Corp.	5.5
3	Alphabet Inc.	3.1
4	Amazon.com Inc.	2.3
5	Berkshire Hathaway Inc.	1.7
6	UnitedHealth Group Inc.	1.5
7	Johnson & Johnson	1.4
8	Exxon Mobil Corp.	1.4
9	JPMorgan Chase & Co.	1.2
10	NVIDIA Corp.	1.1
組入銘柄数		506銘柄

## ■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

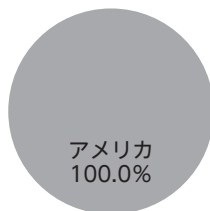
## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.03

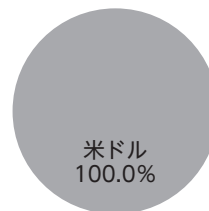
## ■資産別配分



## ■国・地域別配分



## ■通貨別配分



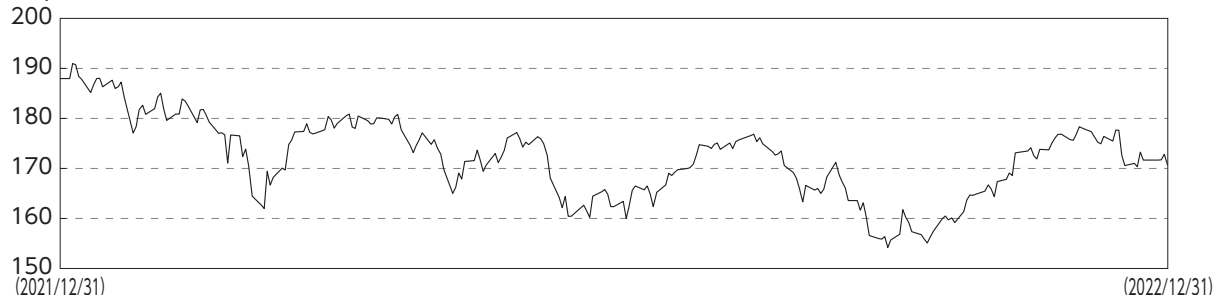
## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(ユーロ建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIヨーロッパ・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIヨーロッパ・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

## ■ 基準価額の推移

(ユーロ)



## ■ 組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Nestle SA	3.4
2	Roche Holding AG	2.5
3	Novo Nordisk A/S	2.4
4	ASML Holding NV	2.4
5	AstraZeneca plc	2.3
6	Shell plc	2.2
7	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	2.2
8	Novartis AG	2.1
9	TotalEnergies SE	1.7
10	Unilever	1.4
	組入銘柄数	434銘柄

## ■ 1万口当たりの費用明細

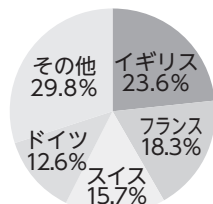
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■ 費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.08

## ■ 国・地域別配分



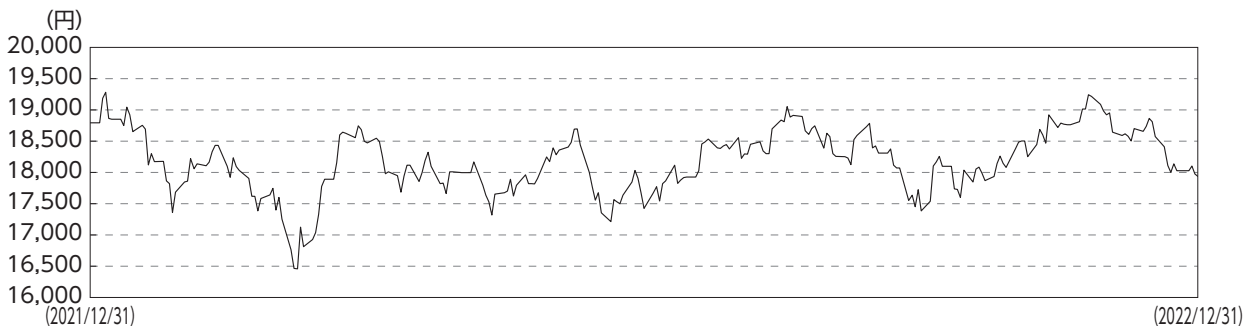


## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(円建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIジャパン・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2014年2月28日
決算日	毎年12月31日

## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■ 基準価額の推移



## ■ 組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	4.6
2	ソニー	3.0
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.5
4	キーエンス	2.4
5	第一三共	1.8
6	三井住友フィナンシャルグループ	1.6
7	ソフトバンクグループ	1.6
8	日立製作所	1.5
9	KDDI	1.5
10	武田薬品工業	1.5
	組入銘柄数	237銘柄

## ■ 1万円当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■ 費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

## ■ 国・地域別配分



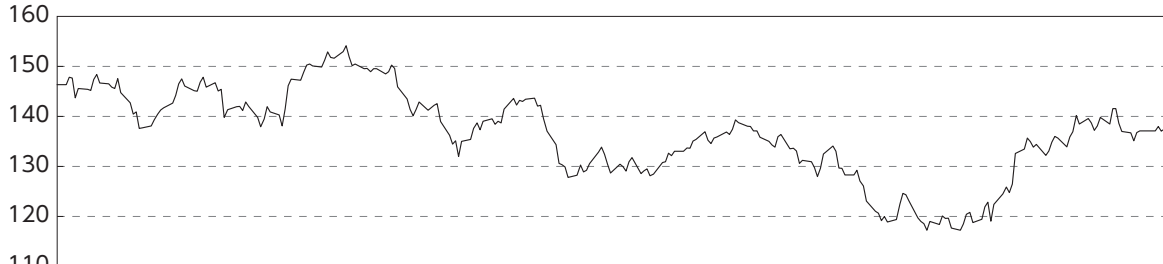
## 4. バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIパシフィック・エックスジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIパシフィック・エックスジャパン・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

## 4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



(2021/12/31)

(2022/12/31)

## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	BHP Group Ltd.	8.6
2	AIA Group Ltd.	7.3
3	Commonwealth Bank of Australia	6.5
4	CSL Ltd.	5.2
5	National Australia Bank Ltd.	3.6
6	Westpac Banking Corp.	3.1
7	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	2.9
8	ANZ Group Holdings Ltd.	2.6
9	DBS Group Holdings Ltd.	2.5
10	Woodside Energy Group Ltd.	2.5
	組入銘柄数	119銘柄

## ■1万口当たりの費用明細

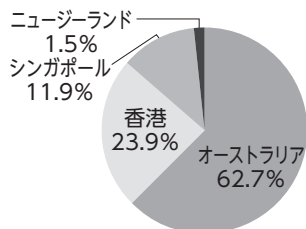
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

## ■国・地域別配分



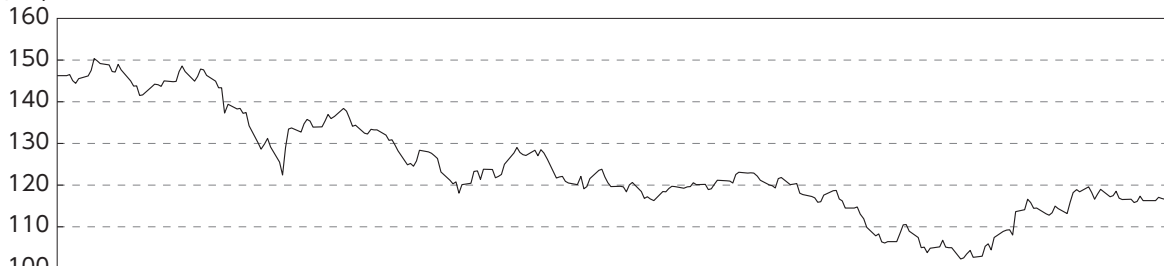
## 5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIエマージング・マーケット・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIエマージング・マーケット・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

## 5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



(2021/12/31)

(2022/12/31)

## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	5.5
2	Tencent Holdings Ltd.	4.1
3	Samsung Electronics Co. Ltd.	3.7
4	Alibaba Group Holding Ltd.	2.5
5	Meituan	1.5
6	Reliance Industries Ltd.	1.4
7	Vale SA	1.0
8	Infosys Ltd.	0.9
9	JD.com Inc.	0.9
10	China Construction Bank Corp.	0.9
組入銘柄数		1,395銘柄

## ■1万口当たりの費用明細

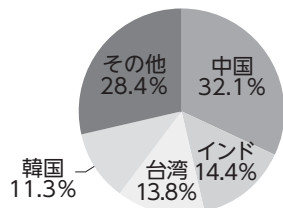
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.16

## ■国・地域別配分



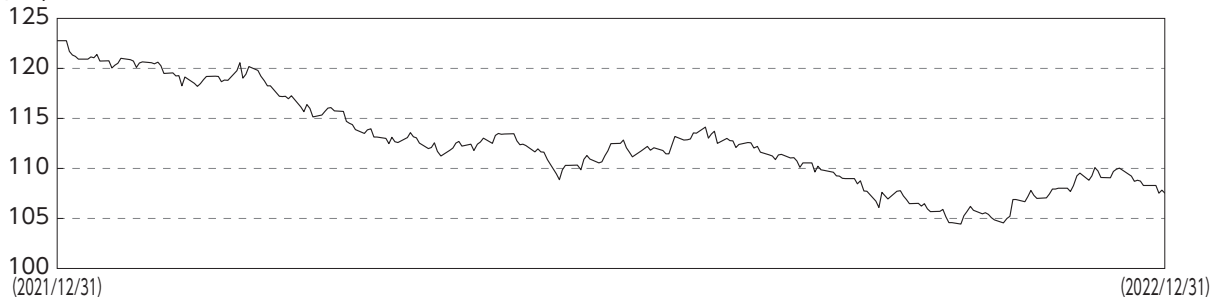
## 6. バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ米国政府債浮動調整インデックス(米国債および米国政府機関債(米ドル建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ米国政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービスズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービスズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

## 6. バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(米ドル)



## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	US TREASURY NOTE	1.08
2	US TREASURY NOTE	0.96
3	US TREASURY NOTE	0.95
4	US TREASURY NOTE	0.90
5	US TREASURY NOTE	0.87
6	US TREASURY NOTE	0.86
7	US TREASURY NOTE	0.86
8	US TREASURY NOTE	0.81
9	US TREASURY NOTE	0.74
10	US TREASURY NOTE	0.72
組入銘柄数		364銘柄

## ■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

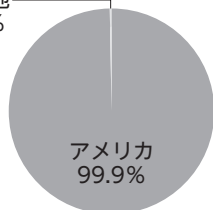
(ご参考)

## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■国・地域別配分

その他  
0.1%



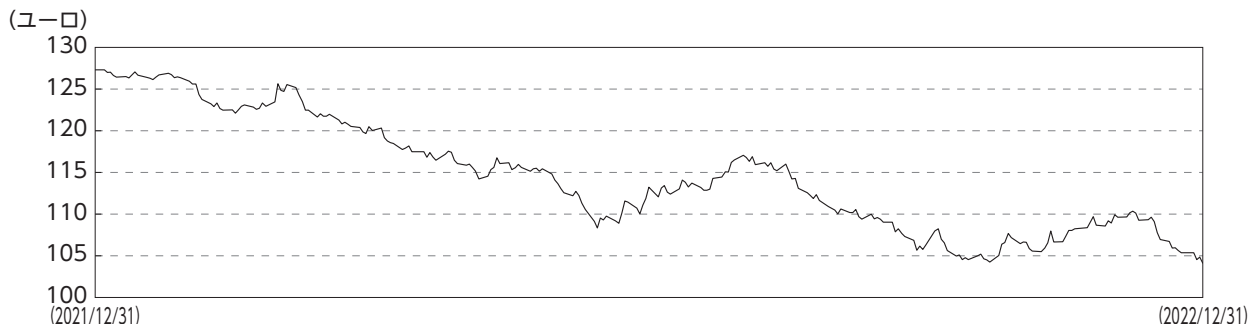


## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(ユーロ建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ・ユーロ政府債浮動調整インデックス(ユーロ圏各国の発行する国債および政府機関債(ユーロ建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ・ユーロ政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	REPUBLIC OF ITALY BOND	2.25
2	KINGDOM OF SPAIN BOND	1.41
3	KINGDOM OF SPAIN BOND	1.29
4	KINGDOM OF SPAIN BOND	0.89
5	REPUBLIC OF ITALY BOND	0.83
6	FRENCH REPUBLIC BOND	0.83
7	FRENCH REPUBLIC BOND	0.75
8	REPUBLIC OF AUSTRIA BOND	0.75
9	REPUBLIC OF ITALY BOND	0.73
10	KINGDOM OF SPAIN BOND	0.73
組入銘柄数		885銘柄

## ■1万円当たりの費用明細

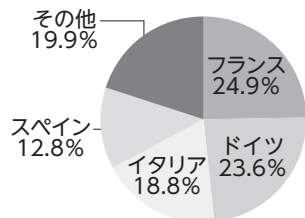
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■国・地域別配分

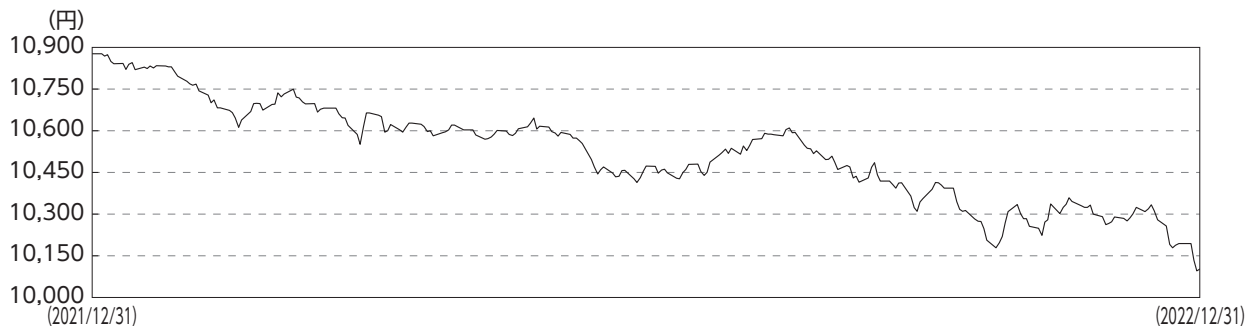


## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(円建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ日本政府債浮動調整インデックス(日本国政府および政府機関が発行する投資適格債券(円建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ日本政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービスズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービスズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2014年9月2日
決算日	毎年12月31日

## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	第154回利付国債(5年)	1.59
2	第153回利付国債(5年)	1.12
3	第436回利付国債(2年)	1.01
4	第150回利付国債(5年)	0.93
5	第152回利付国債(5年)	0.88
6	第37回利付国債(30年)	0.88
7	第368回利付国債(10年)	0.81
8	第35回利付国債(30年)	0.78
9	第151回利付国債(5年)	0.75
10	第33回利付国債(30年)	0.74
	組入銘柄数	343銘柄

## ■1万口当たりの費用明細

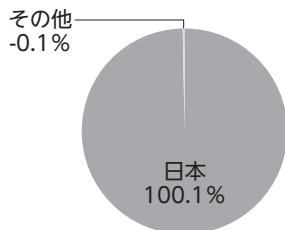
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

## ■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

## ■国・地域別配分



- ・費用明細に記載されている運用管理費率とは、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・バンガード・500・インデックス・ファンド以外の資産別配分、通貨別配分は、開示されていないため記載しておりません。

- ・「MSCIジャパン・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIパシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国23カ国と新興国24カ国の計47カ国で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「Bloomberg<sup>®</sup>」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有権を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。
- ・S&P500はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかにかわからず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・500・インデックス・ファンド → 500・インデックス  
 バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド → インスティテューショナル  
 バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド → ヨーロッパ・ストック  
 バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド → ジャパン・ストック  
 バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド → パシフィック・エックスジャパン・ストック  
 バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド → エマージング・マーケット・ストック  
 バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド → U.S.・ガバメント・ボンド  
 バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド → ユーロ・ガバメント・ボンド  
 バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド → ジャパン・ガバメント・ボンド

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リップパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperfundawards.com](http://lipperfundawards.com)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

## TOPICS：《当社の直接販売の状況 第17期（2022年12月13日～2023年12月11日）》

## ○ 当期のふりかえり

2023年 4月	純資産総額（直販と販売会社の合計） 6,000億円を突破
11月	純資産総額 7,000億円を突破

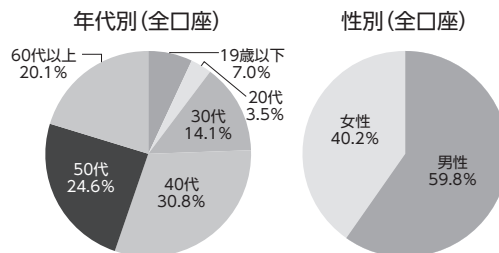
## ○ 2023年12月11日現在 お客さま口座数 157,282件(前期末比+0.6%)

当期間でお客さまは946名増え、前期間の増加数と比べると1,389件減少しました。  
また「つみたてNISA」は33,369名(当期間で501件増)、「ジュニアNISA」は6,283名(当期間で315件減)のお客さまにご活用いただいています。※NISAに関する数値は2023年11月末時点(前期末のお客さま口座数156,336件、前期間の口座増加数+2,960件)

## ○ お客さまの特徴

前期との比較では、性別構成に大きな変化はありませんでしたが、年代構成では、「50代」、「60代以上」の構成比率が増加しています。

口座開設から長期投資を継続いただいたお客様が年数を経たことで、年代の高いお客様の構成比率が少しずつ上昇しています。



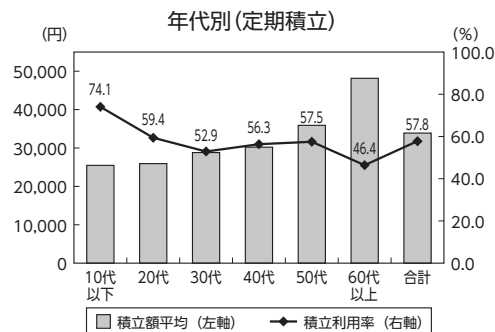
## ○ ファンドの設定・解約の状況

当期間の追加設定金額は前期間を若干下回る程度で推移しましたが、解約金額が増加したことで、当期間の純資金流入額は、前期間の金額296.2億円から減少し、76.3億円となりました。

## ○ 定期積立プラン

当サービスの全体の利用率は57.8%、60代以上を除き各年代のお客さまの5割以上の方がご利用されています。積立額の平均は33,889円と前期間から573円低くなりました。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド3種類のいずれか、もしくは複数のファンドで定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2023年11月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない、一顧客あたりの平均値です。



お客さまに寄り添う運用会社を目指して、「セゾン顧客本位の相談室」の運営、対面やオンラインでのセミナーを引き続き実施し、お客様の長期投資に役立つ情報をお届けしてまいりました。さらに、お客様の利便性をより高めるため、2024年1月に新ネット取引「セゾンとつづく」をリリースいたします。お客様の長期投資を、二人三脚で支えさせていただくツールとして、パソコンやスマートフォンからスムーズにお手続き、お取引いただけるようになります。また、この「セゾンとつづく」を通してお手続きいただくことで、クレジットカード決済での積立でもご利用いただけるようになります。

引き続き今あるサービスの向上、新しいサービスの開始の両面に取り組んでまいりますので、ぜひご期待ください。これからも投資家の皆さまと共に長期で成長を目指す会社として、誠実なサービスのご提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が2023年12月11日現在、運用、販売するファンド3種類を合計した数値となっています。